

第5回 子どものこころの研究会

(『小児科精神科合同研究会』改め)

日時 : 平成19年8月29日(水)19時から

場所 : 北病棟2階 集団精神療法室
(場所が変わりましたのでご注意ください)

演者 : 滝澤 昇
(国立病院機構富山病院小児科)

題名 : 反応性愛着障害から多動行動性障害を形成し入院治療を行った症例について

内容 : 虐待による多動行動性障害はしばしば注意欠陥多動障害との鑑別が難しい。怒りと不信を基礎とした児童の行動様式とその行動に対する家族の厳しい反応や態度から虐待と判断した症例を呈示し、入院治療の諸問題について考察する。

連絡先:精神科 棟居

munesue@med.kanazawa-u.ac.jp